

# 平成31年 **3**月の大阪森林便り



今月の木の話



生活の中で出会う木のさまざま

品名		使用される樹種
野球用バット		トリネコ、ヒッコリー、アッシュ、ヤチダモ、セン、ムクノキ等
ラケット		トリネコ、セン、ヒッコリー等
スキー	板	ヒッコリー、トリネコ、イタヤカエデ等
卓球台		カツラ、ラワン、パーティクルボード等
ボーリング	レーン	メープル、イエローパイン
碁、将棋	盤	カヤ、イチョウ、ホオ、カツラ、スプルース等
	駒	ホウ、カツラ、ツゲ、スプルース
ビリヤード	台	カシ、サクラ、ナラ等
	棒	ナシ、サクラ、カエデ等
ゲートボール	スティック	サクラ
三味線	さお	シタン、カリン、カシ、サクラ等
	胴	カリン、クリ、ケヤキ等
	糸巻	サクラ、コクタン等
	ばち	カシ、ヒノキ、ツゲ等
琴		キリ
拍子木		カシ等
太鼓	胴	ケヤキ、サクラ、アカマツ、クリ、キリ、等
	ばち	カシ、ヒノキ等
バイオリン・ギター	表板	スプルース等
	裏板	カエデ、メープル、スプルース、カエデ等
ハーモニカ		ブナ、カエデ等
そろばん		シタン、コクタン、等
黒板		スギ、マツ等
印鑑		ツゲ、カツラ等
げた		スギ、マツ、セン、キリ等

ハイヒール	ホオ、カツラ、ブナ等
こけし	イタヤカエデ、ホオ等
棺桶	モミ、ヒノキ、キリの貼り物等
かまぼこ板	スギ、モミ、エゾマツ、スプルース等

(日本林業調査会「木材に強くなる本」より抜粋・引用)

## (1) 花粉症の対策 林業不振が壁

### スギ新品種へ植え替え進まず 国産木材の活用拡大カギ

- ・スギ花粉は、高度成長期に一気に整備された人工林が大きな原因。
- ・林野庁は花粉が少ない新品種を開発。
- ・東京都の調査では、花粉症の人の割合は2016年度で45.6%。10年前に比べて17.4%上昇。
- ・樹齢20～30年で花粉が本格的に飛び始め、昭和の後半に入ってから花粉症の広がりが深刻に。
- ・林野庁は木材として従来と同等の質を保ちながら、花粉の量を従来の1%以下にできる品種を開発。花粉が全くでない品種の開発にも成功。
- ・2007年ごろから生産が伸び始め、2016年度には533万本と5年間で約4倍に。苗木全体の25%に達しました。
- ・今のペースだと年間2100～2600ヘクタール分をまかなうのがやっと。
- ・スギの人工林は全国で440万ヘクタール。
- ・植え替えが進まないのは、国内の林業の低迷で国産材が伐採されないから。
- ・木材の生産量は40年前に比べて7割も減りました。
- ・スギの木材価格は1980年をピークに低下し、現在は3分の1の水準。
- ・林業従事者は2015年時点で約45,000人と、5年前より1割減。

(2019年2月11日 日本経済新聞より抜粋・引用)

